

令和5年度事業報告の件

1. 第12回定時総会実施報告

- (1) 総会の種類 定時総会
- (2) 開催日時 令和5年6月13日(火) 10時30分～11時30分
- (3) 開催場所 東京都港区新橋1-2-6 第一ホテル東京 4階「プリマヴェーラ」
- (4) 出席代議員数 121名 (内訳) 本人出席48名、書面表決73名
- (5) 欠席代議員数 6名
- (6) 出席理事・監事 理事17名、監事3名
- (7) 欠席理事・監事 理事1名、監事0名
- (8) 議題

第12回定時総会における第1号議案から第3号議案すべて承認され、第1号報告から第3号報告を報告しました。

- ・第1号議案：令和4年度決算報告（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）の件
- ・第2号議案：任期満了に伴う役員を選任（理事18名、監事3名）の件
- ・第3号議案：本日の決議中必要ある場合、決議の本旨に反しない字句の訂正を議長一任について
- ・第1号報告：令和4年度事業報告の件
- ・第2号報告：令和5年度事業計画の件
- ・第3号報告：令和5年度収支予算の件

2. 令和5年度の代議員について

令和5年度の代議員は127名となります。

地域協会	代議員数	備考
東京都	35	
栃木県	8	
群馬県	10	
茨城県	13	
埼玉県	16	
千葉県	16	
神奈川県	22	
山梨県	4	
静岡県	3	
計	127	

3. 会員の動向

厳しい社会情勢を反映して、令和5年4月会員数7,922名に比べ、209名減少し、令和6年3月末時点の会員数は7,713名となります。

地域協会	会 員 数			備 考 (新加入)
	4月会員数	3月会員数	増減	
東京都	2,150	2,091	▲59	23
栃木県	496	476	▲20	1
群馬県	617	598	▲19	10
茨城県	818	796	▲22	4
埼玉県	996	976	▲20	12
千葉県	984	957	▲27	12
神奈川県	1,355	1,326	▲29	9
山梨県	280	271	▲9	0
静岡県	226	222	▲4	1
計	7,922	7,713	▲209	72

4. 他団体の委員会への参画

4月20日(木)	電気安全関東委員会	電気安全向上のための連絡会議
5月29日(月)	日本電気協会関東支部	支部大会・運営委員会
5月30日(火)	日本電気工事士協会	定時社員総会
6月22日(木)	電気安全関東委員会	広報推進委員会
6月29日(木)	電気安全関東委員会	電気安全向上のための連絡会議
7月10日(月)	日本電気協会	低圧分科会合同小委員会
7月27日(木)	電気安全関東委員会	表彰予備選考会
8月4日(金)	日本電気計器検定所	関東地区証明用電気計器対策委員会
8月8日(火)	電気安全関東委員会	表彰選考委員会
8月10日(木)	電気設備学会	住まいに便利な配線設計委員会
8月29日(火)	電気設備学会	住まいに便利な配線設計委員会WG
8月30日(水)	電気安全関東委員会	電気安全向上のための連絡会議
9月15日(金)	日本電気協会	低圧分科会合同小委員会
9月15日(金)	日本電気協会	EV急速充電設備保安要件調査委員会
9月28日(木)	電気設備学会	住まいに便利な配線設計委員会WG
10月3日(火)	日本電気協会	低圧分科会合同小委員会
10月19日(木)	日本電気工事士協会	定例理事会
10月30日(月)	電気設備学会	住まいに便利な配線設計委員会WG
10月31日(火)	日本電気協会	低圧分科会合同小委員会
11月14日(火)	電気安全関東委員会	表彰予備選考会
11月17日(金)	電気設備学会	住まいに便利な配線設計委員会
11月21日(火)	日本電気工事士協会	定例理事会
12月4日(月)	電気設備学会	EV充電用ケーブル構造要件整理WG
12月11日(月)	電気設備学会	住まいに便利な配線設計委員会WG
12月21日(木)	電気設備学会	住まいに便利な配線設計委員会
1月24日(水)	電気設備学会	住まいに便利な配線設計委員会
1月30日(火)	電気安全関東委員会	電気安全向上のための連絡会議
2月1日(木)	電気安全関東委員会	表彰予備選考会

- 2月 9日 (金) 電気安全関東委員会 表彰選考委員会
- 2月 21日 (水) 日本電気協会 EV 充電器保安要件検討委員会
- 2月 22日 (木) 電気設備学会 住まいに便利な配線設計委員会
- 2月 26日 (月) 日本電気協会関東支部 運営委員会
- 3月 7日 (木) 日本電気協会 低圧分科会合同小委員会
- 3月 26日 (火) 電気安全関東委員会 電気安全向上のための連絡会議

5. 理事会、常務会、委員会等の開催状況

4月12日	定例常務会	9月 7日	優良機材推奨認定委員会 (Web併用)
5月12日	定例常務会 (書面表決)	9月12日	定例常務会
5月16日	監査会	9月14日	内線規程講習会WG (Web併用)
5月26日	役員候補者選考委員会	10月13日	定例常務会
5月26日	臨時常務会	10月17日	中間監査
5月26日	定例理事会	10月23日	電気安全表彰推薦候補選考委員会
6月 8日	電気安全表彰推薦候補選考委員会	10月23日	臨時常務会
6月 8日	定例常務会	10月23日	定例理事会
6月13日	臨時理事会	11月 2日	優良機材推奨認定開閉器仕様WG
6月13日	第12回定時総会	11月15日	定例常務会
6月13日	臨時新理事会	11月20日	全関技術競技大会採点委員会
6月19日	臨時常務会 (書面表決)	12月 5日	総務・財務委員会
6月30日	内閣府へ令和4年度事業関係報告提出	12月12日	定例常務会
7月 5日	漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進 運動連絡会	1月26日	定例常務会
7月12日	定例常務会	1月29日	技術・認証委員会
7月28日	技術・認証委員会 (Web併用)	2月 9日	優良機材推奨認定鋼管引込小柱仕様WG
7月31日	内線規程講習会WG	2月 9日	定例常務会 (書面表決)
8月 9日	定例常務会	3月 5日	優良機材推奨認定委員会
8月24日	全関技術競技大会採点委員会	3月12日	表彰選考委員会
8月31日	事業推進委員会	3月12日	定例常務会
9月 4日	技術・認証委員会	3月25日	臨時常務会
9月 5日	総務・財務委員会	3月25日	定例理事会
		3月27日	内閣府へ令和6年度事業計画関係提出

6. 令和5年度委員会

委員会	検討テーマ
総務・財務委員会	全関内業務品質点検制度の検討
事業推進委員会	住宅電気工事センターの対応実態の把握・評価、及び強化方策の検討
技術・認証委員会	全関技術競技大会の隔年開催の実現に向けた課題点の解決方策の検討

7. 賛助会員（順不同）

本会の事業活動をご支援いただいている賛助会員数は42社となります。

東京電力パワーグリッド株式会社	日本高圧電気株式会社（○）
公益社団法人東京電気管理技術者協会	三菱電機株式会社
パナソニック株式会社（○、□）	株式会社三英社製作所（○）
那須電材産業株式会社	金邦電気株式会社
古河電気工業株式会社	未来工業株式会社（○）
ミツワ電機株式会社	株式会社カワグチ（○、□）
テンパール工業株式会社（○）	共立電気計器株式会社
オーデリック株式会社	イチネンTDリース株式会社
日東工業株式会社（○）	ミドリ安全株式会社
三菱電機住環境システムズ株式会社	河村電器産業株式会社（○）
株式会社日本ネットワークサポート（○）	スリーエムジャパン株式会社
大崎電気工業株式会社	株式会社西田製作所
ワゴジャパン株式会社（○）	DXアンテナ株式会社
内田鍛工株式会社（○）	株式会社空調服
株式会社戸上電機製作所（○）	ヒラキ電計機株式会社
日動電工株式会社（○）	埼玉エンジニアリング株式会社
株式会社伊藤電気製作所（○）	古河電工パワーシステムズ株式会社
内外電機株式会社（○）	株式会社ナスタ
東神電気株式会社	東邦電気株式会社
株式会社東光高岳（○）	
株式会社土井製作所	○…優良機材推奨品認定メーカー
大垣電機株式会社（○）	□…全関推奨品認定メーカー
エナジーサポート株式会社（○）	

8. 表彰関係（敬称略）

- (1) 経済産業大臣表彰 個人の部 電気工事士 2名
- (2) 電気保安功労者 関東東北産業保安監督部長表彰 個人の部 電気工事士 3名
- (3) 電気安全関東委員会委員長表彰の受賞者（社）35件名
 - ①電気安全関東委員会委員長表彰 電気工事事業者 7件名
 - ②電気安全関東委員会委員長表彰 電気工事士 23件名
 - ③電気安全関東委員会委員長表彰 現場第一線従事者 5件名
- (4) 優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター） 2名
- (5) 青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター） 1名
- (6) 傘寿功労者 3名
- (7) 第13回（第43回）会長表彰 受賞者 49名

(8) 主要事業の表彰

事業活動の活性化を図るため、主要事業取り組みの成果について総合評価した結果、1位：埼玉県地域協会、2位：群馬県地域協会、3位：静岡県地域協会を表彰しました。令和5年度の主要事業は以下のとおりです。

- ・施工証明書制度の定着化
- ・会員加入促進
- ・住宅電気工事センター活性化方策
- ・不適合工事ゼロ運動
- ・漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動
- ・全関技術競技大会
- ・引込線請負工事関係
- ・事業管理

9. 賀詞交歓会の開催

本会の公益目的事業を支えていただいているご来賓や賛助会員、正会員の交流の場として、新年賀詞交歓会を開催しました。

- ・日時：令和6年1月26日（金） 15時00分～17時00分
- ・場所：第一ホテル東京
- ・参加者：ご来賓、賛助会員、正会員など160名が参加しました。

10. Web システムによる会議開催

常務会や委員会などWeb システムを活用した会議開催を実施しております。

11. テレワークの実施等職場環境の整備

新型コロナウイルス感染症への予防および働き方改革の一環として、在宅勤務が可能となるよう規程を整備し、現在も継続的に実施しております。

12. 復興支援にともなう「常磐もの」および「国産ホタテ」の消費拡大に向けた協力

東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水の海洋放出が開始されたことを受け、一部外国政府による輸入停止措置が発動され、海産物の消費に多大な影響を与えました。

本会としても消費拡大に向け、会員の皆さまにも主旨を理解いただき海産物の購入支援を実施しました。

- ・「常磐もの」&「国産ホタテ」 購入支援数：1,601セット

【事業関連】

1. 電気安全・保安推進事業【電気安全保安推進事業：公益目的事業】

(1) 電気安全保安相談業務

①住宅電気工事センターの運営

電力会社（または国の登録調査機関）が実施する、法で定められた4年に1度の一般用電気工作物定期調査において発見された不適合電気設備の改修相談、ブレーカーが落ちることの相談、コンセントなどの器具の増設・位置替え等など、より電気を安全に便利に使うための相談に応じております。

また、住宅電気工事センターを知っていただき、より身近なセンターを目指すためチラシ（400,000枚）を作成し、電気使用安全月間などの諸事業の機会を捉え、配布しております。

②全関東本部による相談の対応

地域や個別案件のご相談ではなく、一般的なご要望やご相談をお受けするための窓口としてホームページを活用した受付フォームを用意しております。こちらへのご相談には全関東本部が対応し、取次が発生した際は各地域協会を通じ各住宅電気工事センターへ連絡し、スムーズな消費者相談への対応に努めています。

③一般社団法人日本配線システム工業会の配線器具の日キャンペーンへの参画

一般用電気工作物の電気災害の防止、関係団体・業界との連携強化および住宅電気工事センターの活性化を目的として、一般社団法人日本配線システム工業会主催の首都圏「配線器具の日」街頭キャンペーンへ参画し、住宅電気工事センターチラシを4,800枚配布しました。

- ・日時：令和5年11月8日（水）10時30分～14時30分
- ・場所：横浜駅東口新都市プラザ（B2階 そごう百貨店前）
- ・参加人員：6名

(2) 電気使用安全月間への参画

一般用電気工作物の電気災害の防止や保安確保に資することを目的に、令和5年度も経済産業省主唱による「電気使用安全月間」（実施期間：令和5年8月1日～31日）に参画し、本会会員も電気安全の観点から、キャラバン隊による巡回PR、電気相談所の開設、街頭キャンペーン、広報活動等に東京電力パワーグリッド株式会社、一般財団法人関東電気保安協会、その他関係諸団体のご協力を得ながら積極的に実施しました。

①キャラバン隊の実施や相談所による活動

電気使用者に対し、電気使用安全の啓発活動、節電・省エネに関する情報周知、漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進および、電気使用の合理化に関する啓発活動を行うとともに、電気使用者からの相談を受け付けました。

今年の8月は電力需給のひっ迫が懸念されていたことを受け、電力需給率がピークに達する夕方以降に外で過ごすことを促す節電呼びかけチラシを配布するとともに、電気安全アンケートに回答いただいたお客さまへ、外出先でお使いいただけるLEDランタンライトを1,350個配布しました。

キャラバン隊実施回数62回、編成人数（延べ人数）511名、使用車両台数28台となり、相談所は19箇所開設し、200件の相談に応じました。

②電気使用安全月間アンケートの実施

電気使用安全月間の啓発活動の一環としてホームページ等により、電気安全に関するアンケートを実施しました。

- a. 実施期間：令和5年8月1日～9月1日、全関ホームページまたは各都県のキャラバン隊実施時にアンケートを実施しました。
- b. 回答数 615件
- c. 年齢
 - ・10代 (2.2%) ・20代 (7.5%) ・30代 (15.0%) ・40代 (24.3%)
 - ・50代 (19.8%) ・60代 (14.1%) ・70代 (13.6%) ・80代 (3.5%)

Q 1. 環境省では、夏の冷房時の室温は28度を目安と定めておりますが、それぞれの取組を教えてください(回答数644)

- ・28度に設定している (38.8%) ・28度に設定していない (28.0%)
- ・効果的なのは知っている (23.6%) ・温度は気にしない (5.9%)
- ・エアコンを使用していない (3.7%)

Q 2. ご自宅の分電盤には漏電遮断器は付いていますか(回答数621)

- ・付いている (67.1%) ・付いていない(6.4%)
- ・分電盤がわからない(8.9%) ・漏電遮断器がわからない (8.9%)
- ・分電盤や漏電遮断器の両方ともわからない (8.7%)

Q 3. 中性線欠相保護機能付き漏電遮断器はご存知ですか(回答数613)

- ・知っている (24.3%) ・知らない(75.7%)

Q 4. 自然災害時の電気火災対策の一つとして、一定以上の地震の揺れにより、各家庭の電気の供給を自動的に遮断し、電気起因する出火を防止する「感震ブレーカー」は知っていますか(回答数621)

- ・知っている (51.9%) ・知らない (33.8%)
- ・知らないが興味はある (11.9%) ・すでに導入している (2.4%)

Q 5. コンセントプラグはときどき乾いた布などで掃除していますか(回答数607)

- ・している (48.9%) ・していない (51.1%)

Q 6. コンセント差込口が足りず、たこ足配線になっていませんか(回答数605)

- ・なっていない (53.7%) ・なっている (46.3%)

Q 7. 分電盤にあるメインブレーカー(漏電遮断器)がよく切れませんか(回答数604)

- ・切れる (4.6%) ・切れない (95.4%)

Q 8. ご家庭で取り組まれている節電方法はなんですか（複数回答）（回答数 2,046）

- ・エアコンの設定温度を調整している（17.6%）
- ・無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機等を使用している（11.0%）
- ・直射日光を避けるため、すだれやよしずを活用している（9.7%）
- ・冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に変えた（7.3%）
- ・日中は不要な照明を消す（22.5%）
- ・リモコンの電源ではなく本体の主電源を切る（3.9%）
- ・長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く（10.5%）
- ・照明をLED電球に変えた（16.9%）
- ・その他（0.6%）

Q 9. 地震の際の二次災害防止（火災）のため、避難時にメインブレーカー（主開閉器）を切る（復旧時の通電火災の防止）ことや、電気機器のコンセントプラグを抜くことはご存知ですか（回答数 605）

- ・知っている（66.4%）
- ・知らなかった（33.6%）

Q 10. 今、エネルギー関連で興味のあるもの、詳しい内容が知りたいものを教えてください（複数回答）

①電気事情に関して（回答数 686）

- ・節電や省エネ（56.8%）
- ・災害対策（29.6%）
- ・最大電力を抑えること（13.6%）

②技能や仕組みについて（回答数 297）

- ・スマートコミュニティ（67.7%）
- ・HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）（32.3%）

③設備に関して（回答数 599）

- ・ヒートポンプ（7.7%）
- ・太陽光発電（28.9%）
- ・インバーダー組込み機器（3.3%）
- ・エコキュート（20.7%）
- ・家庭用燃料電池（19.9%）
- ・電気自動車及び充電設備（19.5%）

④費用面など（回答数 552）

- ・機器単価（23.4%）
- ・施工費（34.4%）
- ・助成金や補助金がある場合の内容や手続き（42.2%）

Q 11. 「IoT」（様々な物がインターネットに接続され相互に制御する仕組み）技術が進歩し、様々な製品やサービスが提供・検討されております。ご家庭またはご自身で活用したいと思うものを教えてください（複数回答）（回答数 781）

- ・生活家電（エアコン、照明、テレビなど）をスマートフォンやタブレットで自宅内、外から操作したい（37.8%）
- ・離れたところで暮らしている両親の生活を見守りたい（11.5%）
- ・自宅の電気使用状況を詳しく知りたい（使いすぎなどの把握）（27.4%）
- ・IoTがよくわからない（16.9%）
- ・IoTに興味がない（5.1%）
- ・IoTを利用したくない（1.3%）

- Q 1 2. 「施工証明書兼お客さま電気設備図面」を見たことがありますか（回答数 589）
- ・見たことがある（24.1%）
 - ・見たことはないが名前は聞いたことある（15.6%）
 - ・見たことも聞いたこともない（60.3%）

- Q 1 3. 平成 28 年 4 月から電力小売全面自由化、平成 29 年 4 月からガス小売全面自由化が始まり、お客さま自身で自由に電力・ガス会社を選択することが出来るようになりましたが電力・ガス会社を選択しましたか

(1) 電力会社（回答数 585）

- ・選択した（29.1%）
- ・選択していない、自由化以前のまま（70.9%）

(2) ガス会社（回答数 514）

- ・選択した（21.0%）
- ・選択していない・都市ガスエリアではない、自由化以前のまま（79.0%）

- Q 1 4. 電力小売全面自由化で電気工事業者（電気工事店）や住宅電気工事センターに期待することはありますか（回答数 573）

- ・電力会社を切り替える際の手続きを手伝って欲しい（10.8%）
- ・どの電力会社が良いのか相談に応じて欲しい（23.0%）
- ・その他（2.3%）
- ・特にない（63.9%）

(3) 漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動の実施

電気災害防止方策の一環として、昭和 51 年以来「漏電遮断器取付推進運動」に積極的に取り組み、平成 15 年度からは「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」への取替推進に重点を置き、欠相事故の未然防止に努めています。

また、平成 27 年度からは、大地震発生に伴う電気火災事故を防ぐため感震ブレーカーについて広く啓発活動を展開し、平成 29 年度から運動の名称を「漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動」（実施期間：令和 5 年 8 月 1 日～10 月 31 日）として、関係団体・企業のご支援・ご協力のもと実施しました。

実施にあたっては、推進運動チラシ 200,000 枚、推進運動ポスター 2,000 枚、工事シール 4,900 枚を作成・配布しました。

①令和 5 年度漏電遮断器・感震ブレーカーの取付実績

- ・漏電遮断器未取付のお客さまへの取付台数：565 台
- ・中性線欠相保護機能付き漏電遮断器への取替え台数：1,017 台
- ・分電盤タイプ（内蔵型及び後付型）の感震ブレーカー取付台数：216 台（内 84 台は後付型）

②お客さまアンケート結果

- 実施期間：令和 5 年 8 月 1 日～10 月 31 日
- 回答数：273 件
- 年齢
 - ・10 代（1.2%）
 - ・20 代（5.3%）
 - ・30 代（7%）
 - ・40 代（14.3%）
 - ・50 代（21.7%）
 - ・60 代（22.1%）
 - ・70 代（17.8%）
 - ・80 代以上（21.3%）
- 性別
 - ・男（52.4%）
 - ・女（45.5%）
 - ・回答しない（2.2%）

e. 職業

- ・会社員 (8.4%) ・無職 (2.6%) ・主婦 (2.6%) ・アルバイト (1.8%)
- ・工事業 (1.5%) ・自営業 (1.5%) ・学生 (1.1%) ・公務員 (0.4%)
- ・経営者 (0.4%) ・建設業 (0.4%) ・運転手 (0.4%) ・無回答 (79.2%)

Q 1. 漏電遮断器をご存じですか (回答数 : 273 件)

- ・知っている (72.5%) ・知らない (27.5%)

Q 2. ご自宅の分電盤に漏電遮断器は取付けてありますか (回答数 : 198 件)

- ・取付けてある (77.8%) ・取付けてない (10.1%) ・わからない (12.1%)

Q 3. 今後、漏電遮断器を取り付けるご予定はありますか (回答数 : 19 件)

- ・予定がある (5.3%) ・予定はない (63.2%) ・わからない (31.5%)

Q 4. Q 3 で「予定はない」と回答した理由をお聞かせください (回答数 : 10 件)

- ・今まで電気トラブルはなかった (80.0%)
- ・取付に費用をかけたくない (20.0%)

Q 5. 中性線欠相保護機能付き漏電遮断器をご存知ですか (回答数 : 273 件)

- ・知っている (24.9%) ・知らない (75.1%)

Q 6. ご自宅の漏電遮断器が中性線欠相保護機能のない漏電遮断器だった場合には、中性線欠相保護機能付き漏電遮断器に取り替えますか (回答数 : 67 件)

- ・取り替える (62.7%) ・取り替えない (13.7%) ・わからない (23.5%)

Q 7. Q 6 で「取り替えない」と回答した理由をお聞かせください (回答数 : 7 件)

- ・今まで電気トラブルはなかった (72.7%)
- ・取り替えに費用をかけたくない (27.3%)

Q 8. いままでに、漏電遮断器のスイッチが切れたことがありますか (回答数 : 273 件)

- ・ある (18.8%) ・ない (81.3%)

Q 9. 漏電遮断器のスイッチが切れた時、あなたはどうしましたか (回答数 : 47 件)

- ・家族が操作した (74.4%) ・電力会社に電話した (4.3%)
- ・電気工事店に電話した (2.1%)
- ・住宅電気工事センターに電話した (12.8%) ・わからない (6.4%)

Q 10. 漏電遮断器が作動した時の対処方法をご存知ですか (回答数 : 267 件)

- ・知っている (42.7%) ・知らない (57.3%)

Q 11. 感震ブレーカーをご存じですか (回答数 : 270 件)

- ・知っている (43.7%) ・知らない (56.3%)

Q12. ご自宅の分電盤に感震ブレーカーを取り付けてありますか

(回答数：117件)

・取付けてある (27.4%) ・取付けてない (59.8%) ・わからない (12.8%)

Q13. 今後、感震ブレーカーを取り付けるご予定はありますか (回答数：71件)

・予定がある (7.0%) ・予定はない (62.0%) ・わからない (31.0%)

Q14. Q13で「予定はない」とご回答した理由をお聞かせください

(回答数：32件)

・取付に費用をかけたくない (81.2%)
・いつ起こるかかわからない大震災に備える必要はない (18.8%)

Q15. コンセントプラグを乾いた布などで掃除していますか(トラッキング現象の予防) (回答数：246件)

・している (45.5%) ・していない (54.5%)

③インターネット広告の実施

漏電遮断器および感震ブレーカーの取付・取替について啓発する本活動を少しでも多くの方に知っていただくことを目的として、令和5年9月～10月までの2か月間にインターネット広告を実施しました。

・広告閲覧数 (インプレッション数) : 12,292回
・総クリック回数 : 412回

(4) 工事品質向上方策に関する理解活動

①不適合工事ゼロ運動の展開

「不適合工事ゼロ運動」を令和5年8月、令和6年2月に実施し、施工証明書の活用による自主検査実施の徹底を図り、不適合工事減少に向け取り組みました。

本会で把握している不適合工事内容については、依然として接地工事の不適合が過半数を占めており、接地工事の必要性、重要性について周知しました。

- ・令和5年8月は、施工証明書適用率22.3%、不適合工事率0.24%です。
- ・本会で把握できた不適合工事内容の構成は、接地工事 (78.7%)、分電盤の確認 (20.0%)、漏電測定 (1.3%) です。
- ・令和6年2月は、施工証明書適用率21.7%、不適合工事率0.20%です。
- ・本会で把握できた不適合工事内容の構成は、接地工事 (57.3%)、分電盤の確認 (32.6%)、漏電測定 (9.3%)、引込線取付点から分電盤までの配線 (0.8%) です。

②施工証明書の理解活動

施工証明制度の普及拡大を目的に、お客さまに向けた施工証明書のメリットをお知らせするチラシを作成し、ホームページに掲載しました。

2. 内線規程講習会【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

(1) ワーキンググループ

内線規程の改訂を受け、改訂箇所の共有や理解度診断設問の改定を行うべく、各都県の講師を委員とし、ワーキンググループを開催しました。

①令和5年度第一回内線規程講習会ワーキンググループ

- a. 開催日程：令和5年7月31日（月）14時00分～16時00分
- b. 開催場所：電気工事会館7階
- c. 出席者
 - 出席
 - ・内線規程講習会講師15名、事務局1名
- d. 議題
 - ・内線規程改訂概要の説明
 - ・レジュメの修正箇所について
 - ・第二回ワーキンググループに向けた依頼について
 - ・その他

②令和5年度第二回内線規程講習会ワーキンググループ

- a. 開催日程：令和5年9月14日（木）14時00分～16時00分
- b. 開催場所：全関会議室（Web併用）
- c. 出席者
 - 出席
 - ・内線規程講習会講師10名、事務局1名
 - Web出席
 - ・内線規程講習会講師3名
- d. 議題
 - ・理解度診断テスト設問の確認（問1～9）
 - ・理解度診断テスト第10問コンペティション
 - ・事前打ち合わせ
 - ・その他

(2) 講習会開催結果

①群馬会場

- ・日時：令和5年11月21日（火）9時00分～17時00分
- ・会場：群馬県電気工事工業組合 会議室
- ・講師：群馬県地域協会 2名
- ・受講者数：45名
- ・理解度診断結果：78.7点

②神奈川会場

- ・日時：令和5年12月11日（月）9時00分～17時00分
- ・会場：神奈川県電気工事工業組合 会議室
- ・講師：神奈川県地域協会 2名
- ・受講者数：45名
- ・理解度診断結果：79.9点

③栃木会場

- ・日時：令和6年1月31日（水）9時00分～17時00分
- ・会場：栃木県電気工事業工業組合
- ・講師：栃木県地域協会 2名
- ・受講者数：16名
- ・理解度診断結果：82.9点

④埼玉会場

- ・日時：令和6年2月15日（木）9時00分～17時00分
- ・会場：埼玉県電気工事業工業組合 埼玉電気会館
- ・講師：埼玉県地域協会 2名
- ・受講者数：17名
- ・理解度診断結果：80.6点

3. ケーブル防火区画貫通措置に関する講習会【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

建築基準法で定められた防火区画等や、ケーブル防火区画貫通部に関する知識・技術を習得するための講習会を開催し、ケーブル火災の防止に努めるため講習会を実施しました。

(1) 上期

- ・日時：令和5年9月4日（月）10時00分～12時00分
- ・会場：埼玉県電気工事業工業組合 埼玉電気会館
- ・講師：株式会社古河テクノマテリアル 市場開発部 1名
- ・受講者数：48名
- ・確認テスト結果：10点満点中 8.75点（平均点）

(2) 下期

- ・日時：令和5年11月30日（木）14時00分～16時00分
- ・会場：千葉県電気工事業工業組合 会議室
- ・講師：株式会社古河テクノマテリアル 市場開発部 1名
- ・受講者数：38名
- ・確認テスト結果：10点満点中 8.65点（平均点）

4. 環境理解推進事業【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

昨今のエネルギー情勢を巡っては、地球温暖化問題に対応した脱炭素の動きに留まらず、過酷な世界情勢に端を発した燃料価格高騰による、酷暑期の需給のひっ迫が予想される等、生活に直結する電気の安定供給もまた求められています。

そうした情勢の中では、二酸化炭素を排出せずに電力を創出する術として、原子力発電の活躍が期待される一方で、その安全性とリスクについては、震災から12年経った今も人々の記憶に残り、原子力発電のイメージに暗い影を落としています。

これまでの、そしてこれからの原子力政策における原点とも言うべき、福島第一原子力発電所の現状の取組を把握することで、正確な情報を発信できる指導者を育成するため、福島第一原子力発電所、並びに廃炉に関する各種研究を行っている施設の見学会を開催しました。

- ・日時：令和5年11月9日（木）～11月10日（金）
- ・場所：1日目：福島第一原子力発電所（東京電力廃炉資料館）
2日目：櫛葉遠隔技術開発センター
- ・参加者：「関東地区電気エネルギーを考える委員会」委員等13名

5. 第29回全関東技術競技大会の実施【災害復旧に向けた調査、資料収集および技術研鑽に関する事業：公益目的事業】

電気工事の的確な施工と安全を重視した基本作業の定着及び公衆安全の確保を図ることはもちろん、非常災害時における、電気の復旧作業については、迅速かつ適切な対応が求められる中、日頃の技術・技能の研鑽が重要です。そこで復旧工法の工夫や改善、安全意識の向上を目的として実施し、改善成果の確認ならびに好事例を公表し、水平展開することで、より高いレベルの定着化を図り、緊急時対応に備えることを目的に開催しました。

- (1) 開催日時 令和5年10月11日(水) 9時00分～16時15分 天候：晴れ
- (2) 開催場所：東京電力パワーグリッド(株)総合研修センター(東京都日野市百草460)
- (3) 参加者：選手：1チーム4名×9チーム=36名
：来賓3名・審査委員5名・採点委員10名・本会役員8名
競技大会実行委員10名・見学者・マスコミ等94名 合計：166名
- (4) 実施結果：関東東北産業保安監督部長賞：千葉県チーム
東京電力パワーグリッド株式会社 社長賞：群馬県チーム
一般財団法人関東電気保安協会 理事長賞：東京都チーム
全日本電気工事業工業組合連合会 会長賞：茨城県チーム
公益社団法人全関東電気工事協会 会長賞：栃木県チーム

(5) 審査委員長講評(概要)

審査については与えられたテーマについて、限られた時間内で技術基準を遵守し、いかに手際よく確実に出来栄よく完成できたかを基準に公正かつ厳正に行いました。

審査項目は次のようになります。

- ・作業加点：作業における服装、作業員の相互協力、迅速性、安全への配慮、昇降柱動作
- ・仕上がり：技術基準、内線規程等の遵守状況、誤配線・誤接続の有無、EE ポールの建柱状況、分電盤や器具等の取付状況

審査については、審査員5名、採点委員10名による審査委員会で9チームの採点を厳正に実施しました。評価については、各チーム技術が拮抗しており、選考に大変時間を要しました。良かった点、気づいた点をいくつか紹介させていただきます。

○良かった点

- ・呼称・復唱が良く出来ていた。
- ・作業態度やKYが非常に良く出来ていた。
- ・全体的に個々のスキルの高さが確認できた。
- ・地震発生時に作業責任者による的確な指示により避難されていた。

○気づいた点

- ・電柱作業時・建柱時に落下物が見受けられた。
- ・電源側からの先行接続による複数回の充電作業が見受けられた。
- ・EE ポールの昇降柱時に下で梯子を支えていないケースが見受けられた。

6. 工事請負等の業務支援に関する事業【収益事業】

(1) 引込線関係請負工事店の安全研修・安全パトロール

引込線関係請負工事店の安全研修への全員参加の徹底、安全パトロールの効果的な実施とともに、引込線関係請負工事契約を希望する工事店の推薦業務を実施しました。

令和5年4月～令和6年3月実績

推薦希望 工事店数	新規・変更（延べ）	166 社
	更新	2,737 社
	計（延べ）	2,903 社
安全研修		192 回
安全パトロール		82 回

(2) 引込線関係請負工事費におけるインボイス制度への対応

令和5年10月1日からのインボイス制度により、東京電力パワーグリッド株式会社と協議の上、従来どおりの効率的な運用を鑑み、本会において引込線関係請負工事店の皆さまの工事代請求書を代理交付することになりました。

7. 電気機器材料の品質向上に関する運営および使用推奨の普及活動、また関係団体との情報交換に関する事業【収益事業】

(1) 優良機材推奨認定委員会の開催

開閉器仕様 WG および鋼管引込小柱仕様 WG を設置、開催し、仕様変更要望や JIS 改訂に対応するため、規格の改訂作業を行いました。

(2) 優良機材推奨品認定制度の運営について

令和6年3月末の認定件数は、更新19件、部分変更7件となりました。

8. 新規事業への取組【収益事業】

(1) テプコカスタマーサービス株式会社と協業した受電設備サービスの実施

「高圧受変電設備新設・更新工事」見積業務等を継続して実施しております。

(2) 一般財団法人関東電気保安協会との協業事業の実施

一般財団法人関東電気保安協会が管理する受変電設備の清掃業務を実施し、令和5年度は、茨城県で6件、群馬県で5件の計11件実施しました。

(3) 東京電力パワーグリッド株式会社からの工事要請取次業務の実施

取次エリアを9都県全域に拡大し、運用を開始しました。令和5年度の取次件数：8,959件、工事受注件数：4,385件に達したことから、来年度は新たな市場の確保と拡大に向けて取り組んでまいります。

以上